世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ

【世界銀行東京事務所　Eニュース 689号】新型コロナウイルス感染症に関するG20財務大臣・中央銀行総裁電話会議を受けた世界銀行グループ総裁声明、他

世界銀行東京事務所　Eニュース 第689号　2020年3月27日　発行

新型コロナウイルス感染症に関するG20財務大臣・中央銀行総裁電話会議を受けた世界銀行グループ総裁声明

デイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁は3月23日、新型コロナウイルス感染症の拡大に関して発表した声明の中で、各国のニーズに基づいた迅速な支援の提供と回復までの時間短縮が目標であると述べ、所得水準の特に低い途上国の債務削減を呼びかけました。

スピーチ原稿：http://wrld.bg/V9cQ30qt3gp

世界銀行グループとIMFによる共同声明: IDA借入国の債務救済に関する行動の呼びかけ

3月25日、世界銀行グループと国際通貨基金（IMF）は20カ国財務大臣・中央銀行総裁会議（G20）に対して共同声明を発表し、新型コロナウイルス感染症の流行は、国際開発協会（IDA）借入国の経済・社会に深刻な影響をもたらす恐れがあるとして、すべての二国間債権国に対し、IDA借入国が返済猶予を求めた場合、債務返済を延期するよう呼びかけました。

声明： http://wrld.bg/v7hE30qt386

第23回防災セミナー開催報告：世界銀行ナレッジノートシリーズ「日本における統合都市洪水リスク管理」の出版

世界銀行ナレッジノートシリーズ「日本における統合都市洪水リスク管理」の出版を記念し、2月3日に開催された防災セミナーでは、日本が得た知見と教訓をどのように開発途上国の強靭性強化に活用するかを議論する貴重な機会となりました。開催報告を以下リンクからご覧いただけます。

特集： http://wrld.bg/7Ywx30qt3iB

事前告知：2020年 世界銀行グループ日本人職員（日本政府が支援するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）とミッドキャリア（MC））募集

世界銀行グループは、2020年4月上旬から、日本政府が支援するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）とミッドキャリア（MC）ポジションの募集を開始します。今回募集されるポストの詳細と応募方法は、準備ができ次第、下記のページで公開します。

詳細： http://wrld.bg/zRjU30qprju

主なニュース

マダガスカル：人的資本への投資を支援

世界銀行理事会は3月26日、マダガスカル政府の人的資本への投資に対する1億ドルの支援を承認しました。この開発政策により、保健および教育における人的資本の改善、社会セクターにおける財源の利用性と予測性の向上、そして女性と子どもの法的保護の強化が期待されます。

プレスリリース： http://wrld.bg/ByIK30qt30y （英語）

モンゴル：新型コロナウイルス感染症の医療診断を強化

世界銀行は3月25日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受け、モンゴルにおける医療サービス強化するために220万ドルを動員しました。この資金により同国が最も必要としている医療診断機器を購入し、早期診断と治療へのアクセスが強化されます。

プレスリリース： http://wrld.bg/eRU430qt30G （英語）

ソマリア：拡大HIPCイニシアチブに基づく債務救済措置

国際通貨基金（IMF）と国際開発協会（IDA）は、ソマリアが拡大HIPCイニシアチブに基づく債務救済を受けるための基準を満たしたと判断しました。世界銀行とIMFは引き続き協力し、同国政府が実施する財政安定や社会情勢の強化などに必要な技術支援と政策ガイダンスを提供します。

プレスリリース： http://wrld.bg/2JBR30qt30S （英語）

カンボジア：主要な公共サービスにおける社会的説明責任の拡大

世界銀行は3月26日、カンボジアの10の州内の保健センター、小学校、地方自治体などの主要な公共サービスにおける社会的説明責任の向上を目的とした支援を承認しました。このプロジェクトにより、公共サービスの運用と公的資金の利用について市民に説明する活動の強化、および市民からのフィードバックに対する適切な対応の改善が見込まれます。

プレスリリース： http://wrld.bg/1zO230qt310 （英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム

世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

【世界銀行東京事務所　Eニュース 688号】世界銀行グループ、経済と雇用を支えるため、新型コロナウイルス感染症対策への支援を140億ドルに増額、他

世界銀行東京事務所　Eニュース 第688号　2020年3月19日　発行

世界銀行グループ、経済と雇用を支えるため、新型コロナウイルス感染症対策への支援を140億ドルに増額

世界銀行と国際金融公社（IFC）の理事会は3月17日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行が金融・経済にもたらす影響を軽減するため、3月3日の発表から20億ドル増額した140億ドルの対策支援パッケージを承認しました。本パッケージはこの増額により、国家の公衆衛生対策を強化するだけでなく、民間企業に迅速な支援を提供します。

プレスリリース：http://wrld.bg/FYVG30qqUoj

MIGA、バングラデシュで三菱重工による肥料製造プラントの建設を支援

多数国間投資保証機関（MIGA）は、三菱重工などが肥料プラントを建設する国営バングラデシュ化学工業公社のゴロサール・プロジェクトにおいて、HSBCとMUFGに対して信用保証を提供したことを

3月12日に発表しました。同プラントは国内での肥料生産をより低コストで実現し、同国として初めて二酸化炭素の貯留技術を導入します。農業世帯の収入増加はこれまで同国の貧困撲滅に大きく貢献しており、肥料製造能力の増強によりそのトレンドが維持されると期待されます。

プレスリリース：http://wrld.bg/kDH830qqlPq （英語）

日本人採用ミッション：上級社会開発専門官を募集中（3月27日締切）

世界銀行では、中東地域における社会開発に関連するプロジェクトに携わる上級社会開発専門官を募集しています。下記リンクの応募詳細をご覧ください。締め切りは3月27日（金）です。

詳細： http://wrld.bg/M9q730qqVSp

事前告知：2020年 世界銀行グループ日本人職員（日本政府が支援するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）とミッドキャリア（MC））募集

世界銀行グループは、2020年4月上旬から、日本政府が支援するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）とミッドキャリア（MC）ポジションの募集を開始します。今回募集されるポストの詳細と応募方法は、準備ができ次第、下記のページで公開します。

詳細： http://wrld.bg/zRjU30qprju

ブログ：世界で最も貧しい国が持つ共通点

2019年の世界各国の貧困をみると、貧困率が最も高い43の国はすべて、脆弱性・紛争の影響下（FCS）か、サブサハラ・アフリカ地域かのどちらかで、3分の１以上の国は両方にあてはまります。ブログでご覧ください。

ブログ： http://wrld.bg/539K30qpqzu

主なニュース

レソトにおける電力へのアクセス向上への支援

世界銀行は3月13日、レソトにおける持続可能な電力供給の確保を目的とした、国際開発協会（IDA）からの4,000万ドルを含む支援に署名しました。このプロジェクトにより、手頃な価格で信頼できる電力へのアクセスが向上し、農村部および都市近郊に住む人々の生活が改善される見込みです。

プレスリリース： http://wrld.bg/N9DZ30qqUq5 （英語）

公共調達：世界銀行が初のグローバル・データベースを発表

世界銀行は3月18日、調達分野における世界218の国や地域の法律、システム、実績に関するデータを集約したオンライン・データベースを発表しました。世界初となるこのデータベースは、透明性、説明責任、効率性の向上に加え、ベスト・プラクティスの共有にも役立ち、各国の社会開発や経済成長の加速に必要な公共調達改革の設計に貢献すると期待されています。

プレスリリース： http://wrld.bg/XY4S30qqUqc （英語）

リベリア：世界銀行が包摂的成長を支援

世界銀行理事会は3月17日、リベリアに対する4,000万ドルの国際開発協会（IDA）プロジェクトを承認しました。公共セクターの透明性強化と経済・社会の包摂性促進により、持続可能な経済成長の達成を支援します。また、新型コロナウィルス感染症の流行による財政状況の悪化を和らげ、最脆弱層の強靭性を高めるために役立つと期待されます。

プレスリリース： http://wrld.bg/FGcv30qqUqg （英語）

ラオス人民民主共和国：保健・栄養サービスへのアクセス改善に新規融資

世界銀行理事会は3月12日、保健・栄養サービスへのアクセスを向上するためのプロジェクトに対する2,300万ドルの支援を承認しました。母子死亡率や栄養不良が東アジア・大洋州地域でも特に深刻な中、サービスの質向上と普及拡大を図ることを目的としています。特に、母子保健、予防接種、結核・HIVの予防を含む公衆衛生プログラムの持続可能性を高め、北部地域における栄養不良の緩和に重点的に取り組みます。

プレスリリース： http://wrld.bg/44X830qqUqF （英語）

ウズベキスタン：世界銀行が水・衛生セクターの改革とインフラ整備を支援

世界銀行理事会は3月12日、水・衛生インフラ支援プロジェクトに対し国際開発協会（IDA）の融資2億3,900万ドルを承認しました。大半のインフラについて、人口増加に伴うニーズ拡大に対応できるだけの修復、維持管理、拡張ができておらず、質が低下していました。同プロジェクトは国内3地域で50万人以上に恩恵をもたらす見込みです。

プレスリリース： http://wrld.bg/dG6C30qqVVA （英語）

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム

世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

【世界銀行東京事務所　Eニュース 687号】日本人職員募集の事前告知、ブログ「フード・システムの健全化への投資による安全性強化に向けて」、他

世界銀行東京事務所　Eニュース 第687号　2020年3月13日　発行

新たな感染症の60%以上がヒト以外の動物由来とされています。写真: © Flore de Preneuf/世界銀行

事前告知：2020年 世界銀行グループ日本人職員（日本政府が支援するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）とミッドキャリア（MC））募集

世界銀行グループは、2020年4月上旬から、日本政府が支援するジュニア・プロフェッショナル・オフィサー（JPO）とミッドキャリア（MC）ポジションの募集を開始します。今回募集されるポストの

詳細と応募方法は、準備ができ次第、下記のページで公開します。

詳細： http://wrld.bg/zRjU30qprju

ブログ：フード・システムの健全化への投資による安全性強化に向けて

感染症の根本原因のひとつとして、動物からヒトへの病原体感染という制御の効かないリスクが挙げられます。畜産環境、食の安全性、獣医療サービス、動物の飼育環境、人獣共通感染症の感染源特定の向上等、長期的なシステムへの投資が必要です。

ブログ：http://wrld.bg/NIC130qoB5D

主なニュース

セネガル：固形廃棄物管理を改善

世界銀行グループ理事会は3月5日、セネガルの急速な都市化に伴う固形廃棄物管理システムの強化と廃棄物管理サービスの改善を支援するため、国際開発協会（IDA）を通じた1億2,500万ドルの支援を承認しました。これにより、首都ダカールを含む7つの地域の約600万人に改善された廃棄物管理サービスが提供され、5,000人がトレーニングを受ける見込みです。

プレスリリース： http://wrld.bg/eNbg30qpqs2 （英語）

ジェンダー包摂を実現する都市計画

世界銀行が2月に発表した「ジェンダー包摂を実現する都市の計画・設計ハンドブック」によると、都市の機能は女性よりも男性にとって有効なものとなっているとしています。すべての人が都市の恩恵を平等に受けられるよう、都市と地域社会の設計に女性、女児、性的少数者、障害者の視点を含めることが重要です。

特集： http://wrld.bg/ajiK30qpqsd （英語）
プレスリリース： http://wrld.bg/FHFx30qhAlW

モルディブ：海洋資源を保全し持続可能な生活を

モルディブでは漁業が主要な経済活動ですが、乱獲や漁獲量規制の欠如により、漁業で生計を立てている人々の生活が脅かされています。世界銀行が2017年に同国政府と協力して立ち上げたプロジェクトは、絶滅危惧種の減少を食い止めることで、漁業に携わる9,500世帯に恩恵をもたらすことが期待されます。

特集： http://wrld.bg/FNz830qpqsM （英語）

マラウイ、モザンビーク、ザンビアの農業に効率的な技術を導入

南部アフリカに対する農業生産性プログラム（APPSA）は、マラウイ、モザンビーク、ザンビアの農業技術の改善と利用拡大を目的に設立されました。世界銀行の支援を受けたこのプロジェクトにより、灌漑方法の改善や寄生植物耐性のある品種の開発などが取り入れられ、耕作効率と収穫量が向上したことで、7年で460万人以上が受益しました。

特集： http://wrld.bg/KlAd30qpqsU （英語）

再募集：東京開発ラーニングセンター（TDLC）マルチメディアスペシャリスト（短期コンサルタント）

世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）では、マルチメディアスペシャリスト（短期コンサルタント）を募集 しております。勤務地は東京、応募締切は2020年3月20日（金）です。

＜主な職務内容＞
世界銀行の東京開発ラーニングセンター（TDLC）にて、公開セミナー等の機材運用計画を立案・助言し、ビデオ会議とWebExの接続状況モニター、コントロール室と会議室の定期保守点検支援などを実施。
＜応募条件＞
オーディオ・ビジュアル分野での業務経験が3年以上ある方 。ビデオおよびオーディオ機器に関する専門レベルの知見と経験があり、会議ブリッジを操作した経験を有するか、学ぶ意欲のある方。ビデオ編集ソフトを使用した経験、および使用する能力を有することが望ましい。

応募締切： 2020年3月20日（金）
詳細： http://wrld.bg/fJ8h30qbDI4

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階

電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム

世界銀行東京事務所Eニュース

世界銀行グループ | Working for a World Free of Poverty

【世界銀行東京事務所　Eニュース 686号】世界銀行グループ、新型コロナウイルス感染症への各国の対応に最大120億ドルの緊急支援を発表、他

世界銀行東京事務所　Eニュース 第686号　2020年3月6日　発行

世界銀行グループ、新型コロナウイルス感染症への各国の対応に最大120億ドルの緊急支援を発表

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が60以上の国に拡大する中、世界銀行グループは、途上国における保健制度の強化と経済への影響に対応するための当面の支援として、最大120億ドルの緊急支援パッケージを準備しています。今回の支援パッケージには、国際開発協会（IDA）、国際復興開発銀行（IBRD）、国際金融公社（IFC）からの資金が充てられます。

プレスリリース： http://wrld.bg/KxeW30qn9c6

新型コロナウイルス感染症への対応に関するIMFと世界銀行グループによる共同ステートメント

3月2日、クリスタリナ・ゲオルギエバ国際通貨基金（IMF）専務理事とデイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁は共同ステートメントを発表し、国際機関や各国政府と緊密に協力し、保健制度が特に脆弱で国民の脆弱性が深刻な貧困国を優先に、加盟国への新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響に対する支援を確実に提供していくと述べました。

ステートメント：http://wrld.bg/fPwM30qn89j

2020年春季会合に関するIMFと世界銀行グループによる共同ステートメント

3月3日、クリスタリナ・ゲオルギエバ国際通貨基金（IMF）専務理事とデイビッド・マルパス世界銀行グループ総裁は、新型コロナウィルス感染症（COVID-19）による健康への懸念が高まる中、IMF及び世界銀行グループのマネジメントならびにそれぞれの理事会は2020年IMF・世界銀行春季会合をバーチャル開催とすることで合意した、との共同ステートメントを発表しました。

ステートメント：http://wrld.bg/U3Ne30qn9bB
2020年春季会合についての質問と回答（Q&A）：http://wrld.bg/KoMM30qnxX5

ブログ：貧困削減のペースにばらつきー極度の貧困は大半の国で減少しつつある一方、脆弱・紛争国では増加中

慢性的な脆弱性・紛争・暴力（FCS）の状況下にある国々では、貧困率が40%を上回りますが、過去20年間に、一度もFCSにならなかった国では貧困率が27%から4%に、FCSを脱却した国では44%から19%へとそれぞれ減少しています。データでご覧ください。

ブログ： http://wrld.bg/vOYa30qnxXD

主なニュース

生涯所得の男女格差を解消すればジェンダー平等の経済的配当172兆ドル達成が可能

3月8日の国際女性デーを前に発表された世界銀行グループの新報告書は、世界中で女性が男性と同じ所得を得た場合、国の将来の富の価値といえる人的資本の価値が約20%、女性の人的資本の価値は50%以上増加する可能性があるとし、女性と男性の生涯所得の格差を埋めることにより、世界全体で172兆ドルの経済的配当を達成できることを示しています。

プレスリリース： http://wrld.bg/MAgH30qnrry （英語）
報告書： http://wrld.bg/z6oX30qnswe （英語）

ミャンマー：国全体の教育の質とアクセスを改善

世界銀行理事会は3月3日、ミャンマーの基礎教育へのアクセスと質の向上を目的としたプロジェクトを承認しました。国際開発協会（IDA）からの1億ドルの支援を含む本プロジェクトは、特に社会的包摂と紛争の影響を受けた地域への支援を優先し、同国全体の教育システムの効率性の強化を図ります。

プレスリリース： http://wrld.bg/rT4130qnrrP （英語）

パキスタン：人的資本と生活を支援

世界銀行は、パンジャブ州の特定の地区における貧困層および脆弱な世帯への健康サービスと社会的保護を強化するための人的資本投資プロジェクトに2億ドルの支援を表明しました。専門家による妊産婦のケア、予防接種、出産などの医療サービスの質と利用率が向上し、最大1,800万人に恩恵をもたらすことが期待されます。

プレスリリース： http://wrld.bg/F1K030qnrrZ （英語）

トルコ：再生エネルギーへの支援により恩恵

世界銀行理事会は2月28日、トルコの電力会社（TEİAŞ）による同国の再生可能エネルギー統合プロジェクト（REIP）に、2億8,950万ユーロ（3億2,500万ドル相当）の追加融資を承認しました。この資金は、大規模な再生可能エネルギー発電を統合し、増大する電力需要へに対応します。

プレスリリース： http://wrld.bg/x9zY30qnrtl （英語）

再募集：東京開発ラーニングセンター（TDLC）マルチメディアスペシャリスト（短期コンサルタント）

世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）では、マルチメディアスペシャリスト（短期コンサルタント）を募集 しております。勤務地は東京、応募締切は2020年3月20日（金）です。

＜主な職務内容＞
世界銀行の東京開発ラーニングセンター（TDLC）にて、公開セミナー等の機材運用計画を立案・助言し、ビデオ会議とWebExの接続状況モニター、コントロール室と会議室の定期保守点検支援などを実施。
＜応募条件＞
オーディオ・ビジュアル分野での業務経験が3年以上ある方 。ビデオおよびオーディオ機器に関する専門レベルの知見と経験があり、会議ブリッジを操作した経験を有するか、学ぶ意欲のある方。ビデオ編集ソフトを使用した経験、および使用する能力を有することが望ましい。

応募締切： 2020年3月20日（金）
詳細： http://wrld.bg/fJ8h30qbDI4

リンクが表示できない場合、お手数ですがメール上のURLをコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けていただくか、メールでご連絡をいただければ幸いです。

世界銀行東京事務所
東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル14階
電話 03-3597-6650　FAX 03-3597-6695
世界銀行東京事務所フェイスブック
世界銀行東京事務所ツイッター
世界銀行東京事務所インスタグラム